

第7回例会

通算第 1242 回例会 2025.9/3(水)

12:30~13:30 郡山ビューホテル

- ▶ 開会点鐘
- ▶ 国歌斉唱
- ▶ ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
- ▶ ロータリーの目的・四つのテスト唱和：内田朝美さん
- ▶ ゲスト：福島県骨髄バンク推進連絡協議会 会長 関根政雄様
郡山支部 代表 坂本豊和様
ミン ヘイン カントさん(米山奨学生)

▶ 宮崎登志行 会長 挨拶

日本の終戦記念日は 8 月 15 日で戦争の話に触れる機会が多かったと思いますけれども、9 月 2 日がアメリカにおける終戦記念日、9 月 3 日は中国などの終戦記念日となっております。今年で 80 年が経ったということではいろいろな機会に戦争について考えていきたいと思います。今日は骨髄バンクのお話をいただけるということです。骨髄バンクの登録には年齢制限があります。関根会長、本日は卓話をよろしくお願いいたします。本日の例会もよろしくお願いします。

▶ 9月と10月のお誕生祝い：齋藤健二 親睦活動委員長

花束の手配の都合により、9 月と 10 月のお誕生日祝いをまとめてさせていただきます。星相ノ介さん、増子ふみえさん、渡邊万里子さん、私、本郷俊之さんに花束を贈呈いたします。



▶ 9月分米山奨学金お渡し

▶ カントさん挨拶

夏休みが終わって一昨日から学校が始まりました。最初の授業で先生から「自分に関係のないことをプレゼンして」という、とても難しい課題が出されました。友達はミャンマー語を取り上げると決めたのでうれしかったです。私は日本のことを調べようと思い、日本の歴史を調べ始めました。とても面白いと思っています。



プログラム：ゲスト卓話・骨髄バンク寄付

▶ 福島県骨髄バンク推進連絡協議会 会長 関根政雄様



福島県骨髄バンク連絡推進協議会の会長に昨年 6 月に就任いたしました。東白川郡鮫川村に住んでおりまして、浅川町で造園会社を起業し、今は息子が社長をしております。骨髄バンクの活動を始めたきっかけは、会津美里町の大石邦子さんから青年会議所の事業を通じて頼まれたことでした。その時、坂本さんの息子さんが闘病

中で、駅前でドナー登録を呼びかけている姿を見て、これは社会的に組織を作らなければならないと思いました。32 年前の話でございます。今、登録者が全国で 56 万人を突破しております。私たちが始めた頃はまだ 30 万人になっていませんでした。皆さんのお力を借りて一生懸命 PR をしてドナーを増やしていただきましたが、全国で 1700 人以上の方々がドナーを待ち続けております。“困った人がいたら助ける…”まさに皆様の奉仕の精神そのものであります。

私たちは「若い世代のドナーの拡大」「骨髄ドナー助成制度確立」「ドナー休暇の導入」「命のバトンリレー」の 4 つの目標を掲げています。社会的な提供者への環境を整備するためのドナー支援制度は、各町村の 100% 導入を目指しておりますが、まだまだこれからです。長年にわたり郡山アーバンコスモス RC さんから貴重なご寄付をいただいておりますことに御礼を申し上げます。皆さんと一緒に次の世代にバトンタッチできる支え合う社会づくりをしていきたいと思いますので、今後とも皆さんのお力をお借りすることをお願い申し上げます。

▶ 骨髄バンク寄付

▶ 坂本豊和様 挨拶

皆様には日頃から骨髄バンクの活動に深いご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。



第8回例会

通算第 1243 回例会 2025.9/10(水)

12:30~13:30 郡山ビューホテル

- ▶ 開会点鐘
- ▶ 四つのテスト唱和: 渡邊孝子さん
- ▶ ゲスト: 佐藤隆典様 (ORION CORPORATION 代表取締役)
舟橋壮介様 (郡山南 RC)

▶ 吉成 進 副会長 挨拶

会長が所用により不在のため副会長として初デビューとなりました。最近子ども食堂が多くなりまして、私もあるプロジェクトに参加して活動しております。先日は時給が発表になり、福島県は 8.3%アップです。物価高もありますのでなんとか頑張っていきたいと思います。皆さんも大変でしょうが、ともに頑張りましょう。

9月23日(火)は第1回親睦ゴルフコンペです。現在まだ1名の余裕がございますので平原さんにご連絡ください。9月28日(日)には恒例のアイラブロード事業があります。朝7時と早いですがよろしく願います。9月25日に郡山商工会議所の創立100周年記念式典が開催されます。会長が議員として出席するため、当クラブを代表しまして私が出席します。

プログラム: ゲスト卓話

▶ ORION CORPORATION 代表取締役 佐藤隆典様



私は大学卒業後に牛井のすき家の株式会社ゼンショーに約5年半お世話になりました。新規事業として1週間に1店舗をオープンするという強行スケジュールでした。東日本の店舗をすべて回りブロック長という役職にいましたが、祖母が亡くなったこともあって30歳前に辞めて福島に戻りました。2年ほどアルバイトをしながら父の兼業農業を手伝いましたが、学校の先生になりたいという希望を持っていて、結婚してから学習塾の東日本学院に約11年お世話になりました。その時も教室拡大のため入社2年目で二本松の教室の室長となりました。東日本学院が静岡の学習塾と統合して映像を使う中学生の学習塾を始めることになり、安達教室で当時最先端だったパソコンの映像を見せながら質問に対応していくという中学1~3年生と高校2年生までの教室を私が見させていただきました。その後、郡山に転勤になりましたが、ゆっくりしないと娘の成長を見られないかもしれないと思い始めました。妻は娘の育児をしながら近所の学校帰りの3~4人の子たちの宿題を見ていました。その子たちが小学6年生になったら遠くの学習塾に通わなくてはいけないと聞いて、思い切って自分でやってみようと思い、逢瀬町の自宅にある納屋の2階で学習塾を始めました。今日は子ども食堂につながるお話をさせていただければと思ひまして、皆さんのお手元に資料を準備しました。高校

受験で悩んでいる中学3年生の子たちを勇気づけたいと思って伝えているメッセージの抜粋です。保護者だけでなく地域で育てていきたいと考えています。

逢瀬町でも子どもが少なくなっている中で、地元の商工会青年部と話し合う機会がありました。コロナ前までは逢瀬公園でミュージックライブを4年ほどやっていましたが、お祭りもなくなってしまいました。昨年、子ども食堂のことを知って郡山市に聞きに行ったところ、ハードルが高いことが分かりました。みんなで話し合いましたら、保健所に行って聞いてみようということになりました。今は営業許可が簡易になって、郡山市子ども食堂ネットワークに登録すると子ども食堂ができると聞きまして、さっそく動くということになりました。地元の区長さんに話したところ「区長会で相談してみたら」と言っていただきましたので、簡単な企画書を作って話をしたところ、昔お世話になった育成指導員だった区長さんが「応援するよ」と言われて、今年2月16日に地元の企業にも応援をいただいて始まりました。

4月から郡山市の子ども食堂ネットワークに加盟しまして、いろんな物品をいただいています。ペニマルさんの商品券は食材購入に充てています。逢瀬町には地域の交流の場所がないので、みんなで楽しく食べる場所を作ろうということで、おじいちゃんおばあちゃんも来られる地域サロンとしています。40~50代の私たちが実行委員となって、子ども食堂をやりながら、地域の困り事も含めて全部をまとめるような団体になっていけたらと思っています。活動はまだ始まったばかりですが、勢いで「夏祭りをやるぞ」と言ってしまいました。商工会や皆さんに協力していただいてテント4基、テーブル10台、プラスチック椅子は逢瀬公園さんから借りることができました。食材は企業さんからいただいた寄付で買いました。今回は大人300円、子供100円で、フランクフルト、焼きそば、焼き鳥、かき氷、子どもたちが楽しめるようにスーパーボールすくい、型抜きも行いました。子どもが45人くらい、総勢70名ほどの参加をいただき、結構大にぎわいで開催することができました。最後にスライドで少し様子を見ていただきたいと思います。

▶ スライド上映・事業内容説明

▶ 佐藤隆典様に謝礼お渡し

第9回例会

通算第 1244 回例会 2025.9/23(火)

例会変更: 令和7年9月23日(火・祝) 9:43 スタート

第1回親睦ゴルフコンペ

- ▶ 会場: グランディ那須白河ゴルフクラブ
西白河郡西郷村大字熊倉字雀子山3
- ▶ プレー終了後、レストランにて表彰式

